

湯けむり景観 保存事業

自治体情報

人 □ 121,118人

標準財政規模 21,925,347千円

担当課 大分県 別府市 教育委員会生涯学習課

電話 0977-21-1587

ホームページ <http://www.city.beppu.oita.jp/>

事業期間 平成19年度から平成22年度まで

参考とした施策

関係施策分類 ⑥

施策の概要

1 取り組みに至る背景

別府市の「湯けむり」は、市民には馴染みの風景であるが、2001年にNHKが実施した「21世紀に残したい日本の風景」で、富士山に次いで第2位となったことをきっかけに、「湯けむり」による景観（以後、「湯けむり景観」とします。）を国の重要な文化的景観に選定してもらい、保護し、後世に伝えていくという市の方針を決定した。

現在は、この方針に基づき、「鉄輪地区・明礬地区」を第1期の対象地域として、選定の前提となる国への申出を行うための準備を行っている。



2 事業内容（目的・目標・方策）

湯けむり景観の保護が目的であるが、重要文化的景観の選定には、景観法並びに文化財保護法に基づく作業が必要となる。景観法に基づく景観条例、景観計画は既に作成されており、第1期対象地域である「鉄輪地区」独自の計画も策定されているので、本事業では、文化財保護法の観点から申出に必要な保存計画の策定、重要景観構成要素の所有者の同意を中心に行うこととし、学識経験者、地域の代表、利益団体代表、市役所内関係部署職員による検討委員会を設置し、取り組みを進めている。

保存計画については、第1部を鉄輪地区・明礬地区に関する各方面からの調査報告、第2部を保存すべき重要景観構成要素の抽出及びそれに関する保存計画とする予定で、現在は第1部の報告を作成するため、調査専門の分科会を設置し、そのメンバーである学識経験者に依頼をし、調査を行っている。今後は、第1部の調査報告完了後、地元大学とともに第2部の保存計画の原案を策定し、学識経験者による分科会で更なる検討を行った後、最終的に検討委員会に諮り、正式な計画としていく。なお、同意事務に関しては、地元の地域団体の理解も必要なことから、調査や計画策定事業におけるワークショップ等を活用し、周知徹底を図りながら、取り組む予定である。

3 施策の開始前に想定した事業効果

別府市の観光産業においては、温泉や地獄とともに今や湯けむり景観も貴重な観光資源となっているところである。しかし、他の2つと異なり、具体的な保存対象というものが見えないことから、湯けむり景観の保存が困難となっていた。今回行う予定である国の重要文化的景観の申出に関しては、その手順から、景観の成り立ち、生活生業との協働等を調査し、保存すべき重要景観構成要素に対して保存計画を策定していくこととなる。湯けむり景観に関しても具体的な保存のポイントが明確になるとともに、生活生業の状況に即した保存が図られていくことが期待される。



4 導入にあたり工夫・苦労した点、課題、対処法など

湯けむり景観のような都市景観を国の重要文化的景観の対象とするのは初めてであり、検討委員会や分科会の人選、調査や保存計画の策定の手法などにおいて、一つ一つの段階を確実にこなしていくよう手探りでやっている。住民の生活圏にも関わる話なので、今後とも慎重に取り組んでいきたい。

5 現在の成果・実績、今後の展開など

現在行っている調査の結果をもって、湯けむり景観の価値・認識を確固たるものとし、住民等にも広報していきたい。また、本計画策定に関し、地元住民対象のワークショップを活用することで住民の意思等を盛り込み、具体的な保存のポイントを明確にするとともに生活生業の状況に即した保存を図っていきたい。

なお、必要に応じて景観条例等へのフィードバックも図っていく。

予算関連データ 別府市

総額 ①～⑤の計		財源内訳(財源区分:①～⑤)				
		①国費	②県費	③起債	④その他	⑤一般財源
14,163千円		6,736千円	0千円	0千円	0千円	7,427千円
①～④の名称・所管等	名称	国宝重要文化財等 保存整備費補助金				/
	所管	文化庁記念物課				
	金額	6,736千円				
	補助率	1/2				